

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	コンビニ（経営者）	・複合施設設の大型スーパーが開店したので、この地域が注目されている。天候が気になるものの、夏休みには近くのレジャー施設にも来客が予想されるので、大胆かつきめ細かい品ぞろえで売上が取れると考えている。
		衣料品専門店（統括）	・例年5～10月にかけては各地での祭りやイベントに参加する客の動きが活発になってくる時期である。このところ各市で同業者が廃業になることが多いようで、遠方からも客が来るようになってきている。
		通信会社（営業担当）	・ボーナス商戦の始まりと共にサッカーワールドカップも始まるので、消費が高まる。
		テーマパーク（職員）	・新規投資による効果が、今後3か月以上続く。
やや良くなる		一般小売店〔家電〕（経営者）	・夏に向かって、冷蔵庫やエアコン等のエコポイント制度対象商品と併せた販売に期待を持っている。
		百貨店（営業担当）	・これまでずっと前年割れで推移して来たが、5月は前年の数字を上回り、若干リーマンショックも一段落、やや上がり気味という状況である。客の様子も、安い物を求めるだけではなく、幅広い買物になっている。
		百貨店（販売促進担当）	・生活防衛から、趣味的消費へとわずかではあるが購買意欲が向上してきている。しかし、消費に対する堅実さは継続し、大幅な景気回復には至らない。
		スーパー（総務担当）	・製造業の受注が増えているので、従業員の収入アップにつながれば、多少上向きになる。
		スーパー（経営企画担当）	・子ども手当の支給も始まり、また、大手企業の夏のボーナスが前年より増えるということなので、消費も多少は上向くのではないかと考えている。
		コンビニ（経営者）	・これから夏に向けてコンビニエンス業界は業績が上がる見通しであるが、ギリシャ財政危機や冷夏というマイナス要因もあるので、非常に不透明である。
		コンビニ（経営者）	・競争相手との販売競争は幾らか良くなる。
		コンビニ（経営者）	・地元の製造業がわずかながら上向いてきている。
		コンビニ（経営者）	・現在コンビニエンスストアが5店舗集中しているが、今月末に1店舗閉店するので、その分少し客が増える。
		コンビニ（店長）	・街中に若者が少なくなり、高齢者が目立って増えている。周りの商環境は悪化していく一方で、今更、行政や商店主が何かをやっても、生活者にとってはプラスになるかもしれないが、営業に影響することはない。新規のカードの取扱いが始まるため、これによる来客数の増加を期待している。
		家電量販店（店長）	・エコポイント制度対象商品であるテレビの供給が回復する。冷蔵庫、エアコンの需要期を迎えるなど好材料に期待が持てる。
		自動車備品販売店（経営者）	・地方では失業や倒産が増えているため、修理代等はかなり単価が下がっている。しかし、一般顧客による車の購入がやや増え始めている感じがする。
		住関連専門店（店長）	・6月から子ども手当の支給が始まるので、多少景気は上向く。
		住関連専門店（仕入担当）	・子ども手当での支給開始、年金支給月と、プラスの要素が重なり、客単価の上積みも期待できる。
		都市型ホテル（支配人）	・近くにオープンした茨城空港により、韓国や台湾からの客が来るようになり、新しいマーケットの増加が見込まれる。
		旅行代理店（経営者）	・製造業がやや上向いている様子なので、やや良くなる。
		タクシー（経営者）	・4月で下げ止まりが見えてきて、5月は少し伸びてきたため、6月以降は少し良くなると考える。
		通信会社（経営者）	・悪い状態は続くものの、夏までには底を抜けられる兆しが見えている。
		その他サービス〔立体駐車場〕（従業員）	・当社ビルに入っているテナントのうち8社ほど、業績が上向いて来客数も増えている。その他は横ばいだが、当社としても上向きの売上予想が立てられるし、来客数に関しても前年比8～10%増を見込んでいる。単価も上向きに転じていると思われるので、将来はやや良くなる。
		変わらない	
商店街（代表者）	・不景気続きのうえ、悪天候が続いているので、人も品物も今は動かない。早く天候が例年どおりに落ち着いてほしい。		

商店街（代表者）	・スポーツ用品販売は、春先から夏までの間が勝負であり、客は必要なものは必ず買ってってくれるので、8月いっぱいは今とそれほど変わらずにいく。
一般小売店〔精肉〕（経営者）	・宮崎県の口蹄疫の影響が出始めており、仕入れが高くなって来ている。消費が控えめなので景気は上向きにはなりそうにない。
一般小売店〔家電〕（経営者）	・建築関係の動きが多少見られるようなので、その関係の売上を期待したいところであるが、天候不順に伴い、季節商戦は見込めない。エコポイント制度に関しても消費者が慌てて購入するには至っていない。
一般小売店〔乳業〕（経営者）	・一般消費が上向き雰囲気は全くない。
百貨店（営業担当）	・4月に全館をリニューアルオープンし、いろいろなかたちで各フロアごとのかたまりが出来てきたような気がする。フロアのパートナーの新しいアイテムとの相乗効果が出て、結果が出て来る。
百貨店（営業担当）	・来客数の改善がややみられるが、天候など不確定要素や参院選などの動向もあって、結果的には好転しない。
スーパー（経営者）	・小売店の供給過剰により、恒常的な競争が続く。
スーパー（店長）	・弱電関係の工場に仕事があるらしく、近隣の生活者の状況は良いと聞けるが、まだ消費活動は活発ではない。
スーパー（統括）	・来店頻度は一昨年並みに戻りつつあるが、客単価はまだ一昨年レベルに届いていないので、本格的な消費の回復はまだまだ先のようなのである。
コンビニ（店長）	・当店の周りで工事関係が若干あるので、その分で何とかかなると思うが、特別大きな工事というわけではないので、3か月先でも景気はそれほど変わらない。
乗用車販売店（従業員）	・販売台数が増加したり、伸びるような経済状況ではない。経済の見通しが今後改善される内容ではない。
乗用車販売店（営業担当）	・補助金の締め切りが迫っていることに加えて、他社の新型車の投入によって来場者数が増加している。この現象は、補助金の支給終了まで続くと考えられる。
乗用車販売店（営業担当）	・中古車の商談比率が高い中で、客の要望する車を探すのに時間が掛かってしまい、思うように売上が伸びない。
乗用車販売店（販売担当）	・展示会をやっても売れず、今後2～3か月先が全く読めない。客が口癖のように、不景気なので高額な輸入新車は買えない、と言っている。何をやっても客が寄って来ない状態なので、このままの悪い状態で推移していく。
乗用車販売店（管理担当）	・経済対策による消費は緩やかに上向いているが、異常気象による米不足、野菜や果樹等の不作や、家畜の口蹄疫による影響が小売単価上昇につながり、今後、消費量が低迷する。
一般レストラン（経営者）	・マスコミ等の報道では一部景気は上向きだといっているが、まだ中小零細企業は苦心している状況である。
スナック（経営者）	・落ちるところまで落ち切った感じがする。上がって行く様子は無いので、しばらくこのままであると考える。
観光型ホテル（営業担当）	・ネットを通じた個人予約は顕著に伸びているが、燃料が再び高騰傾向であり、マイカー客の入り不安要素が残る。一部の旅行エージェントを除き、大手エージェントからの送客はもはや期待薄である。
都市型ホテル（経営者）	・ユーロ圏の金融不安による円高で輸出生産が減少すると、なおさら自動車関係は厳しくなる。
旅行代理店（副支店長）	・客の様子を見ていると、すべての業種で景気が悪く、単価の低い旅行を申込み。次回の旅行の予定もままならない、との話を聞く状態である。
旅行代理店（副支店長）	・ユーロ安や原油高騰が少し気になるが、利益を多少なりとも確保して、海外出張が増えている企業も出てきているので、少し持ち返して来た感がある。しかし、安定した景気上昇や高利益につながるにはまだまだである。
通信会社（局長）	・ボーナス期を迎え、一時的な消費は期待できるものの、顧客の様子からは継続的な消費拡大の期待感薄い。
通信会社（営業担当）	・気象予報では、今夏は日照不足、冷夏が報道されており、果樹などの農業が中心のこの地域では今から不安視されている。
通信会社（営業担当）	・来店してもらっても、なかなか販売につながらないケースが多く、買い控えの状態が続いている。
ゴルフ場（支配人）	・7月の参議院選挙に向けて、各地区での動きが始まったことによる来場の減少が見受けられる。また、気候の変化が激しく、年配者の平日の利用が少なくなってきたと思われる。

	ゴルフ場（業務担当）	・天候に大きく左右されるが、コンペの引き合いが土日に結構きており、なんとか前年並みにもっていけるのではないが。ただ、平日の入場者の取込みいかんによっては、売上がそこまで伸びないかもしれない、微妙なところである。プレー費の下落にはなかなか歯止めが掛からないものの、売店や食堂、衣料品などのオプションやプラスメニューでなんとか前年比の水準を満たしていきたい。
	競輪場（職員）	・他場の記念競輪等の売上目標値を、軒並み達成できていない。
	美容室（経営者）	・カットの客数、入店客数共に徐々に増えつつある状況である。しかし、低料金の店がはびこっており、低料金にしなければいけないという雰囲気にもなっている。
	その他サービス〔清掃〕（所長）	・ボーナスが支給される企業でも、減額されているところが多く、国を見ても景気に与える好材料は見当たらないので、このままの状態が続く。
	設計事務所（所長）	・そろそろ役所からの発注物件が出てくる期待感があるが、地方自治体の財政状況が良くないので、あまり期待をしない方が良くかとも思う。民間主導型の設備投資が見えてくるまでは今までと変わらない。
	設計事務所（所長）	・建築関係については、スプリンクラーの設置や小規模施設が多く、大きな影響はないものと考えている。
	設計事務所（所長）	・あまり変化はないと思うが、今月イベントで集客した客を、電話連絡やダイレクトメール等を利用して取りこぼしなくフォローしていきたい。来月、再来月に向けて少しでも受注につながるよう努力したい。
	住宅販売会社（従業員）	・別荘の維持費負担等から売り物件が増加傾向にあり、新規購入よりも売却のほうが多い状況が続いている。
	住宅販売会社（経営者）	・住宅資金贈与の控除幅が拡張したことが浸透してくれば、富裕層の親からの援助によりまた特需が起きるかもしれないが、一時的なものだと考える。
	住宅販売会社（従業員）	・展示場来場者数や現場見学会来場者数も横ばいの状況であり、今後の受注量増加は見込めない。
やや悪くなる	商店街（代表者）	・ポイントサービスをしているせいか、値引きの話もなく、スムーズな販売となっており、低価格商品は動いている。
	一般小売店〔青果〕（店長）	・天候不順で野菜の価格が上がってきており、また、果物もかなり遅れて出ていて、値段の下がり方が遅い。6月のボーナスもかなり落ちると思われ、良くなる要素が見当たらない。
	百貨店（総務担当）	・顧客リサーチを約15万人に対して行っているが、テレビや新聞で言われているように上向いているという上場企業もなく、景気全体が悪い企業が多い。特に建設土木関係、次いで観光地関連も収入減ということで、上昇はしばらくない。
	スーパー（総務担当）	・食料品については、仕掛けをすればそれだけの成果は挙がる。衣料品は天候が不順なので先行きが不透明で、高額品がなかなか売りづらく、低単価の必需品を中心に売れていく。
	衣料品専門店（店長）	・バーゲン時期で客単価が低い上に購買客数の増加も望めないため、苦しい状況が続くと考えている。
	高級レストラン（店長）	・下げ止まったようでも毎年少しずつ前年実績を下回っており、回復しないままジリ貧の状態になっている。
	一般レストラン（経営者）	・天候不順の影響もあり、同業者の話にも諦めムードが感じられる。
	都市型ホテル（スタッフ）	・飲食関係は選挙があると出足が非常に鈍くなってしまいうのが恒例で、今年は参議院選挙等があるため、見通しが少し暗い。
	遊園地（職員）	・一般家庭では所得減少によって消費マインドが冷え込んでおり、家庭のレジャー支出抑制の影響が大きいので、もうしばらくは消費単価の大幅な伸びが期待できない。
		ゴルフ場（従業員）
悪くなる	衣料品専門店（経営者）	・季節感が無く先が読めない。
	衣料品専門店（販売担当）	・暖かい日と寒い日が交互に来ている状況の中で、暑い日は比較的、人の出は良い。それでも、客の様子から、品物を見ただけで満足しなければいけない、と自分に言い聞かせているような雰囲気を感じており、これからもその状況は続く。
	都市型ホテル（スタッフ）	・これから夏場に向けて総会が終わり、ビジネス客の動きが鈍くなる時期になる。当地は東京の通勤圏内に位置するため、法人企業関係の動きが鈍い状態にあり、夏場に掛けて非常に厳しい状況にある。

企業動向関連	良くなる	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・昨年から見ても、大体前年比90～100%近くの増加で、倍増に近い状況になっており、人員不足も派遣関係の手当てで間に合わせている。12月あたりまでは非常に好調に行きそうである。
		その他製造業〔環境機器〕（経営者）	・ライター事故があって、関係行政が対策でいろいろ動いているため、今後、エアゾール缶、ガス缶、ライターの処理装置などが良くなる。
やや良くなる		食料品製造業（製造担当）	・夏場に向けて、夏商材の特売を掛けるし、新規出店もあるので売上はそこそこ伸びる。競合店が価格競争をし始めると危険であるが、客は美味しい物を求めている面もあるので、価格に負けないものづくりが大事である。
		一般機械器具製造業（経営者）	・中国向け油圧機器の仕事が大幅に増加し、過去のピークを越える可能性も出てきた。また、自動車向け新規量産の仕事も軌道に乗ることから売上のペースも安定が見込める。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・取引先10社中3～4社は大分仕事が出てきたが、これから徐々に他の会社も仕事が増えてくる。
		金融業（経営企画担当）	・観光地においては、7月からの中国人ビザ拡大に期待を寄せている。今後新型インフルエンザの影響などが無ければ、外国人観光客の増加は間違いない。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・現状の引き合い、受注量から見て、企業業績は改善されるだろうが、国際情勢の変化がどう展開して行くかという不安材料もあり、当面予断を許さない状況が続く。
		食料品製造業（営業統括）	・各ワインメーカーとも、オーナー制度やワインツアーなど趣向を凝らした企画を立案しているが、来客増や売上増に結び付いていないのが現状である。
変わらない		一般機械器具製造業（経営者）	・今年度中は、受注が増えた分だけ他の物が減るという状況で推移する模様である。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・1度海外に行ってしまった部品加工は2度と国内に戻ることはないので、本当に困る。
		電気機械器具製造業（経営者）	・多少の増減はあるが、注引量は平行線をたどっている。全く注文が無くなることはないものの、ある時大量に注文が出たと思ったらキャンセルになり、また、少ないと思ったら追加の注文が出るという状況である。取引先もどのくらい発注して良いのか考えあぐねているようであり、当社としても対応するのが非常に厳しくなっている。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・業種によってはフル操業になっているとの話を聞いているが、まだまだ設備投資を行うところまでは回復しておらず、先行きが非常に懸念される。
		輸送業（営業担当）	・子ども手当等の給付も始まり、消費が拡大して行く様相であるが、相変わらず低価格割安感が消費者に求められているため、荷主の多くもデフレ状況からなかなか抜けられず、運賃への転嫁が厳しい状態がまだまだ続きそうである。
		金融業（総務担当）	・今まで手をつけなかった物件費などにも切り込んで見直しを行わなくてはならないので、今後もしばらくは経費削減傾向が続くと考える。
		不動産業（営業担当）	・大企業は徐々に景気が良くなっているが、中小企業はまだまだであり、個人に回ってくる金は景気が悪い状況である。低価格販売も続いているため、売っても利益につながらない状況が継続しており、全体的な景気は良いと言われているものの、マイナス要因もある。
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・衣料品関連の間屋は、この気候が続くと、夏の売上が大きく落ちると予想しており、この1か月で何とか持ち直して欲しい、と話している。自動車販売会社は、3月から持ち直し、今月も前年を上回っているようである。エコカー補助金を生かしつつ、対象から外れる車種は自社のキャッシュバック等の制度で補完するなどして、この先も売上増加を見込んでいるようである。
		経営コンサルタント	・中小企業は目先の売上や受注を確保できるか否かで精一杯である。物流関連に多少上向きの動きがあるが、いつまで持続するか心配されている。
		社会保険労務士	・売上目標が前年度と同じか、少し上回る程度のところが多く、その目標達成に苦労しているところが大多数である。
		司法書士	・一番の仕事である不動産登記が上向きつつあるところであるが、今後はどうなるか分からないので、上向くとまでは言えない。
		やや悪くなる	化学工業（経営者）

		電気機械器具製造業（経営者）	・毎月毎月先が読めない不安の中で仕事を続けており、安定した受注はもう望めない状況なのかと不安である。なんとか営業、開拓をして仕事を確保している。
		金融業（役員）	・円高がまた進みつつあり、製造業において収益力が低下し、再び雇用不安が芽生えつつある。
		広告代理店（営業担当）	・利益の出ない仕事でも、受注しなければ金が回らない。会社の体力が弱ければ、同業他社の倒産も十分あり得る。
	悪くなる	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・仕事の受注量が減っている上、今ある仕事も単価を下げる話ばかりである。
		その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・新聞でダイヤモンドの鑑定の甘さが指摘された記事の影響で、デパートが動揺している。鑑別の取り直しを含め、宝飾業界に大きな負担となる。
		建設業（総務担当）	・4月に隣の市で老舗の建設業者が2件倒産し、5月にも1件が倒産している。原因は売上減による赤字決算であり、結果として資金繰りが立たない。このような状況、受注減少はこの建設業者にも当てはまるので心配が絶えない。
		通信業（経営者）	・景気回復の兆しが見えず、得意先企業も経費削減に躍起になっているため新規の仕事が発生しない状況で、まさに負のスパイラルに陥っている。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（経営者）	・住宅関連の増改築、新築等が幾分目立ってきたので、これに伴う住宅資材、住宅に付帯する調度品や家具等の動きが出てくると思われる。それを受けて内装や建築等の工事関係者は、幾分見込みが立てられる、と動き始めている。自動車関連も動き始め、住宅関連と自動車関連が目立って動くのではという期待を若干抱いている。
		人材派遣会社（経営者）	・付き合いのある客で、今後忙しくなる予定の会社が2つあるので、その影響で良くなる。
	変わらない	人材派遣会社（営業担当）	・生活を取り巻く情勢が不安なことから、将来に不安を抱えざるを得ない。おう盛な消費行動が起きてこない。
		人材派遣会社（管理担当）	・政府の派遣に対する方針が曖昧なため、先が読めない。取引企業からは、派遣社員を自社で抱えるのは難しい状況、との返答があり、しばらくはこの状況が続くそうである。
		求人情報誌製作会社（経営者）	・周辺企業では製造業で一部仕事量が増加してきているものの、社員を募集するほどの企業はほとんどない。
		職業安定所（職員）	・製造業の受注が回復傾向にあるようで、派遣求人が増加していく。ただし、正規従業員を採用するところまでは事業所も踏み込んでおらず、先行きが見えない。
		職業安定所（職員）	・雇用調整助成金（計画数）について、申請企業数としては前月同様で推移している。新たな雇用調整の相談企業も出てきているが、活用日数、人数は減少している。
		職業安定所（職員）	・企業側の求人や採用意欲が依然低調と感じられ、正社員を中心とした新規求人がこのままの水準であると厳しい。
		職業安定所（職員）	・製造業は少し上向きになったと判断されているが、雇用調整助成金の活用が依然として見られるので、当分の間、景気は変わらない。
		学校〔専門学校〕（副校長）	・2年前までは地方の支店で採用の決定ができていた大手企業でも、最終意思決定は本社にあるという状況で、慎重に採用を進めている。
	やや悪くなる	職業安定所（職員）	・ギリシャ財政危機等に鋭く反応している企業が多く、製造業をはじめとして景気の持ち直し感が停滞しており、やや悪くなる状態である。
	悪くなる	-	-